

アメリカンソルジャーのための HOW TO ベトナム人との付き合い方

Cover Photo
WPP Archives, U.S. Army
© WORLD PHOTO PRESS 2022
※本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

CONTENTS

004 **“ベトコンビレッジ”**
ここは地獄の一丁目……アメリカ軍が訓練用につくった

010 **LST船員の記録 第4回**
UNTOLD SEAMAN BLUES
まだ語られていない

022 第42回 **サイゴン物語**
記者たちのベトナム戦争 [19]
Saigon Memories

032 **幻に終わったベトナム戦争の
大エキジビジョン計画**
スミソニアン国立航空宇宙博物館

046 **ベトナムを遠く離れて——。**
私的ベトナム戦争映画／TVムービー Part 6 文/小倉 徹

048 **ベトナム戦争 激戦地の戦跡探訪**
資料収集と現地視察
第2回 中巻 文と写真/三野正洋

054 **BATES 2022 最新モデル**
●Report by Tomo Hasegawa

062 **2022 Shot Show**
世界最大の銃器見本市 ●Report by Muneki Samejima

068 **ウエスタンアームズ新製品レポート**
●by SHOTGUN MARCY
●SVインフィニティ・タクティカル5.4 &
コルト・コマンダー/ガルシア・ガンブラックVer

077 **THE グリーンベレー** ●文/DJちゅう
GREEN BERET
GEARLOG RESURRECTION GREEN BERET PLAYERS
#ギアログレザレクションズ



082 **東京マルイ 新製品レポート** ●by Takeo Ishii
●VSR-ONE & LCPII

089 **トイガンニュース**
●TANAKA S&Wパフォーマンス・センター
M&P R8 5インチ HW Ver.2

090 **Militaria Roundup!**
アメリカ陸軍の徽章(バッジ) PART1
世界の力こぶ ●写真と文/菊池雅之

096 **ドバイ エアショー 2021**

100 **サバゲ・マスカラ・コントラ・マスカラ!**
ボスゲリラ不屈のトイガン魂!

102 **サバゲ三等兵APS部**
単純にAPSを撃ってもらいたいんだよねえ!
(山中社長談)の巻!

COMBAT FRONT LINE

108 **新作映画情報**「ガンパウダー・ミルクシェイク」
「ハード・ヒット 発信制限」「白い牛のバラッド」

104 第18回 **Stringer Blues** 写真・文/横田 徹

106 ゲームOTT「ダイイングライト2 ステイ ヒューマン」

107 **レアミリタリーテクノロジー**

109 **読者PRESENT & CIC**

111 **奥付&次号予告**



ミリタリースポッター

A MCDONNELL DOUGLAS F/A-18A HORNET aircraft is in the hanger being painted in the Blue Angels's iconic flight demonstration team paint scheme, blue and gold motif.



Photo/The U.S. National Archives

マクドネル・ダグラスのF/A-18ホーネットが、フロリダ州ペンサコーラの米海軍航空基地内のハンガーで、ブルーエンジェルスアイコンックなカラー、ブルー&ゴールドにペイントされている最中である。信じがたいほどに密集した編隊飛行で、上空を飛び去るアクロバット飛行を展開するチームは、合計17名のエビエイターたちにより構成されている。全員が海軍士官ではなく、C-130輸送機「ファット・アルバート」の操縦を担当する1名の海兵隊パイロットを含む。

ここは地獄の一丁目……アメリカ軍が訓練用につくった “ベトコンビレッジ”

Part 2

アメリカ軍には戦地の地形や建物をそっくり真似たMOCK TOWNあるいはMOCK VILLAGEと呼ばれる施設がある。戦時にこの施設で訓練を受けた者は実戦デビューが約束されたと言って良い。ベトナム戦争によって作られた通称“ベトコンビレッジ”特集パート2の今回はより臨場感のある写真が多く見ごたえ十分です。
文／鈴木健太郎
写真／WPPアーカイブ、US ARMY、USMC



TRI-ME VILLAGE MCB CAMP LEJEUNE

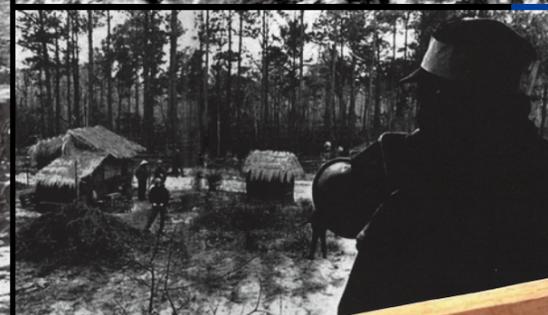
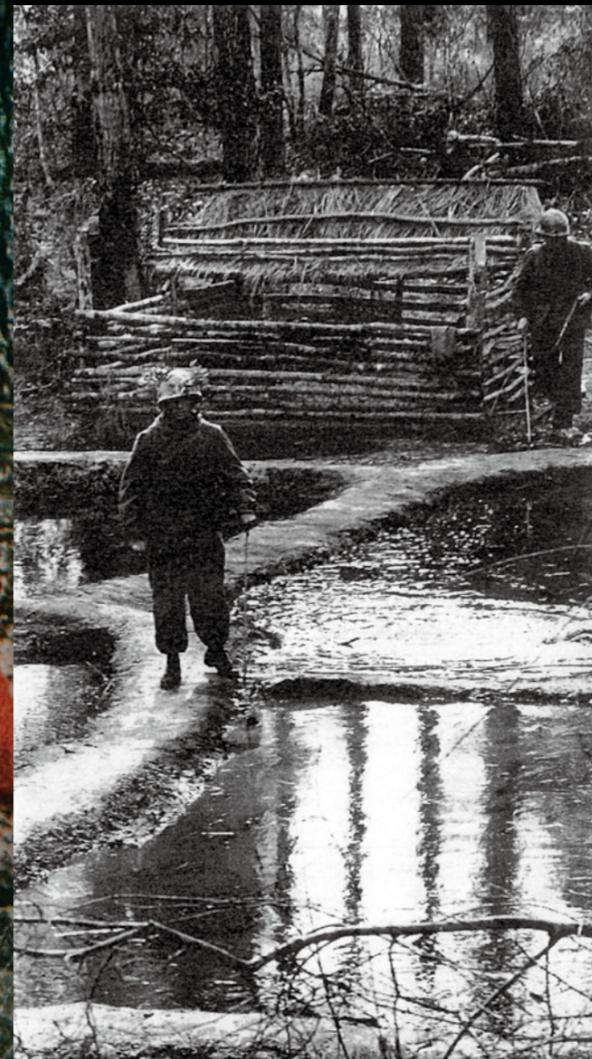
1941年に開設され、翌42年にルジュンバラックス、44年にベースキャンプ ルジュンという名称となったこの海兵隊基地は第二次大戦の太平洋戦線と朝鮮戦争で戦った多くの海兵隊員を育て、1965年にベトナムの村を模した訓練施設“TRI-ME VILLAGE”が作られた。TRI-ME は英語のTRY ME (試してみる) をもじったもので、施設内には

100近くのブービートラップが仕掛けられていたほか、仮想敵にはスペイン語を話す海兵隊員が選ばれ訓練生による尋問や捜索をベトナムと同じように言葉の壁を使って妨害した。ここでの訓練には海兵隊だけでなく、海軍からも訓練生が派遣されており、「なるべく多く失敗して実際の被害を減らすこと」を第一の目的としていた。

民間人役と仮想敵の海兵隊員が村の正門から出てきたところ。オレンジ色の服を基調とした民間人役のコーディネイトは僧侶を真似てのことと思われるが、頭を剃り上げていないためかなり違和感がある。また寒さのためか仮想敵が農民服の下にスウェットパーカを重ね着し、ベトナム人とは少々異なる出で立ちとなっているのも面白い。正門のTRI-MEの下に記されたCHIN SAU NAM はベトナム語でそれぞれ9 6 5となり、さらに左にはこの村が作られた1965年を示すため1を表すMOTの文字が書かれている可能性が高い。



干し草の山から武器を発見し、仮想敵あるいは民間人の身体検査を行なう訓練生たち。仮想敵を演じる海兵隊員はほとんどがベトナムでの実戦を経験したベテランで、解放戦線のゲリラと同じようになかなか口を割らなかつたり嘘の情報を与えたりする。この場面では武器を発見する前にブービートラップが作動し、三人の訓練生が“死亡”した。



仮想敵の待ち伏せを受け、4人の訓練生が反撃を試みる。仮想敵は彼らの反撃に対し銃の安全装置を外したり、水筒を地面にぶつけてわざと耳障りな音を立て、訓練生たちを危険な場所におびき寄せた。見たり聞いたりしたことをそのまま信じ込んでしまっただけでは、ベトナムに着いてから命がいくつあっても足りない。

(上) 訓練生たちにアドバイスをする教官。トライミービレッジでは40人の経験豊富な教官がいた。
(左) (左) 本物そっくりに作られた水田と、あぜ道を進む訓練生たち。彼らはブービートラップのワイヤーにかからないように棒を使っているようだが、実戦ではライフルの先にP-38缶切りなど小さい物を紐で垂らして探る方法が一般化しており、写真のやり方はベテランから見ればまだまだ甘い。



V
I
E
T
C
O
N
G
V
I
L
L
A
G
E

心に少しのゆとりを持てるようになった2回目の航海。
サイゴンやブントウ、カントなど
初めての航海で行った港は少し懐かしくもある。
その一方で初めて訪れる港では
「これもベトナムなのか」とつぶやき、
ベトナムの風景の多彩ぶりに大いに驚かされた。

UNTOLD SEAMAN BLUES

写真と語り／木村 守 (元LST乗組員)
文／吉野文敏 構成／編集部

まだ語られていない
LST船員の記録

【第4回】

カントまで溯っていくメコン川(支流ハウ川)の両岸に延々と続くヤシ畑。「ヤシの木なんて海辺にあると思っていたのが、川岸までびっしりヤシの木で驚きましたねえ。乾期には川の水が澄んでいて、雨期には濁って……カントといえませんがこの風景が思い浮かびます」。

アメリカンソルジャーのための HOW TO ベトナム人との付き合い方

礼束にモノを言わせる態度は失礼だし、金持ちアメリカ人ぶりを引っ込めてと、よそ様の国にいる時に忘れてはいけない礼儀と作法と、常識を説く。最後に、このパンフレットを兵士に配る真の理由が明らかにされている。ベトナム人の間に入って、親しくなつたつもりで話をする、回り回ってそれが敵を利する。だからこそ、「ピースマート」で常に警戒を怠ってはいけない。サイゴンにいたアメリカ陸軍ベトナム軍団 (USARV) が発行したパンフレットの真意はそこにある。

文/コンバットマガジン編集部、写真/米陸軍 Text/Combat Magazine Staff, Photo/US Army

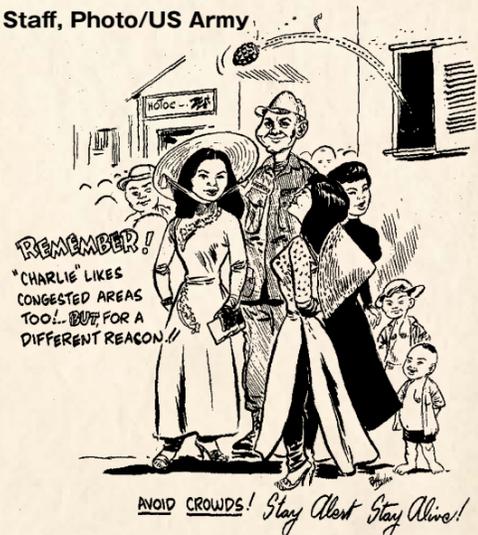
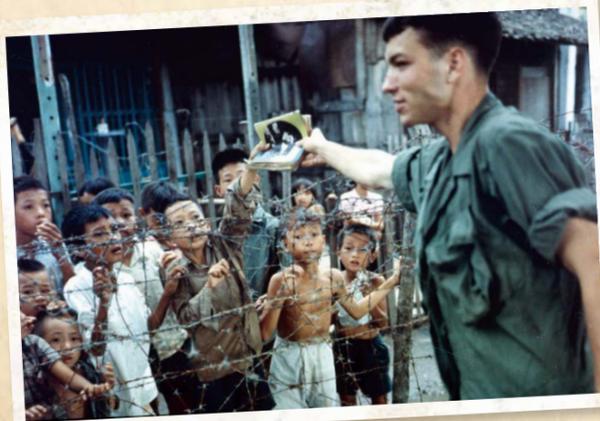
サイゴンには、アメリカ人がゴチャッと集まっている。アメリカとベトナム、二つの文化が出会えば、衝突するのは当たり前。だからって、悪いことばかりじゃない。運が、味方すればいい結果だって生む。でも、残念なことが起きるのも事実。だからって、打つ手がないわけじゃない。「身なりを際なくシャープに、行動もグダつかずシャープに、賢くシャープな人間であれ」と、このパンフレットがベトナムでの行儀作法を授ける。

われわれは、この国にとっては、よそ者だと心得て、特別待遇を求めちゃいけない。ベトナムの人のなかに入って、生活を理解し、言葉を使い、習慣を尊重して法律を守る。女性に礼儀正しく接するのは万国共通。カジュアルよりも、フォーマルに。礼儀とリスペクトが必要。友情は文化の架け橋になる。兵士なかまで友達をつくり、一般の人たちと友達になる。東洋では謙譲が美德。押しつけがましいのはダメ。大声を出したり、不埒な態度に、おかしい行動で人目を引くな。分厚い札束を見せびらかすな。そんなことでは友達はできない。「金持ちアメリカ人」のイメージは引っ込めろ。金と特権をひけらかすなとある。最後にまとめとして、「大勢人が集まるところに立ち寄るな。自分の任務について話をするな。ベトコンが聞き耳を立てているぞ。つねに用心して、軍でのスキルをすぐに使えるように、警戒態勢でいるように」と、ゴリゴリの警戒感をだしてくる。発行元は米陸軍のベトナム軍団 (USARV) である。この組織は1965-72年まで存続した。

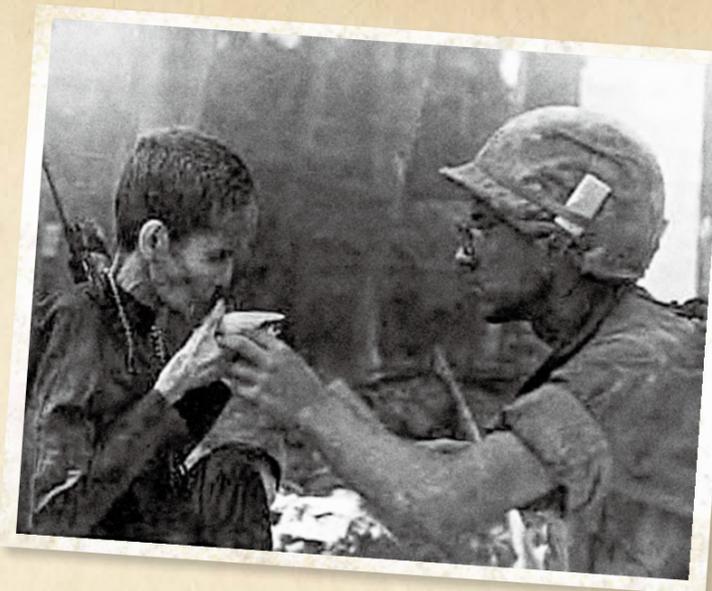
第1号とあるので、この冊子の次号を探したが、見つからない。



USARV Comand Information Pamohlet 1-66



「人混みを避けること!!」そして「ステイアラート、ステイアライブ」。逆にいえば、一度でも油断したら、死んでしまう。おねちゃんたちに囲まれていい気になっていると、頭上をピンが抜けた爆発物が飛んでいく。



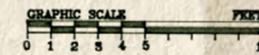
持てる者と持たざる者。モノを使い捨てる者と、モノを捨てない者。教え、教えられる側。与え、与えられる側。軍のレベルでも、民間レベルでも、どこまでもこの二項対立の図式はついて回る。その間に生まれる不信、反発、軽蔑、敵視は、尊敬と理解にたどり着けるか。高所から低所へ流れる水のように、行き着くところまで行かない限り、終わりは見えない。



VIETNAM EXHIBIT

GALLERY 103

SCALE: 1/4" = 1'-0"



FLOOR PLAN WITHOUT HANGING AIRCRAFT

KEY TO EXHIBIT STRUCTURE

- BUILDING WALL
- FILMS
- SOUND ONLY
- ELEVATION CALLOUT

スミソニアン
ベトナム戦争 EXHIBIT

スミソニアン国立航空宇宙博物館

幻に終わった ベトナム戦争の 大エキジビション計画

ワシントンDC近郊のミリタリーショップの棚にあったファイルを編集部が入手。そこにはスミソニアンで、開かれることのないまま終わったベトナム戦争展示会の構成案が詳しく書かれていた。

構成/コンパットマガジン編集部

国立航空宇宙博物館 ベトナム展示会

テーマの概要:

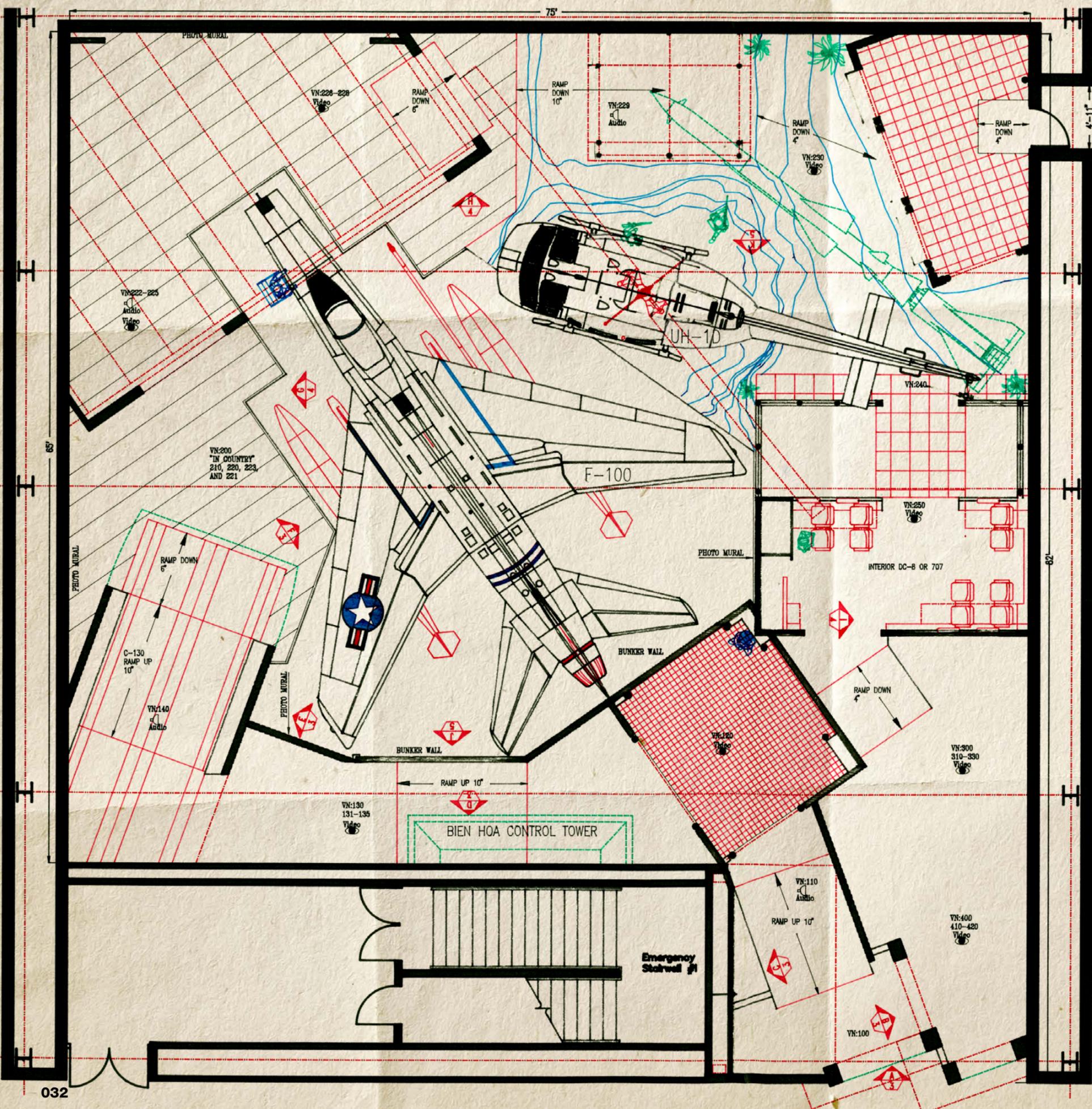
スミソニアン国立航空宇宙博物館のベトナム展示会は、二段構えで、複雑なテーマへの理解を目指す。まずはじめに、航空戦力が果たした役割とその評価を行なう。次に、歴史的プロセスがどのように作用したかを理解するために、東南アジアにおけるアメリカの関与をみていく。

ベトナム戦争は航空活動の驚くべき幅広さを証明した戦争であった。人や供給物を運ぶ商業用運搬機から大規模な戦略爆撃機まで、いろいろな活動があった。軽量の飛行機、最新世代のピストン式エンジン戦闘機、複雑な近代ジェット機、ミサイル・テクノロジー、電子戦、ヘリコプター、タンカーと攻撃機にいとまがない。展示会のひとつの目標は、成功と失敗に焦点をあて、この尋常でない

連の航空技術を広く具現化することである。ギャラリーではこれが使われた背景と、この背景が個々の空軍力のタイプとそれが役立った任務の効力をどのように支配したかを提示している。一言でいえば、かなり多くの人の誤解とは反対に、B-52とヒューイ・ヘリコプター以上の空軍力がベトナムにおいて行使されたということだ。この展示会では、ベトナム紛争における幅広い航空活動を嘘偽りなく、平等に扱っている。

この空の戦争の描写と評価の上に肉付けされるのは、ダイナミックなプロセスとして歴史に焦点をあてる幅広いテーマである。そのプロセスとは、個人が、この複雑な出来事とどのように向き合い、理解したのかをしめす。それを受けて、個々がどのような結論を導き出したのかをしめす。この目的を達成するためには、ギャラリーは歴史的理解と未来への

展望との関係性を踏まえた上で、知的情報とともに現物を使った展示を行なう。どこにいたか、何をしていたか、いつそれをしていたかによってベトナムでの経験はかなり異なるはずだ。あれほど複雑な出来事の多様でしばしば矛盾する評価がどのようにして現われたのかを立証するために、展示品は個人あるいはグループの多岐にわたるベトナム紛争に関する展望を浮かび上がらせる。この出来事への事前の観念が異なっていくのが、出来事への向き合い方はそれぞれにちがっても、そこに至るまでに得た情報と個人的な考え方に基づいて、だれもが自分なりの知見をかためていく。これらの情報源と展望は、人々にアイディア、イメージ、あるいはそれに対する彼らの思い出、したがってそれに関連する出来事の解釈を定義づけるものを思い出させる、基準的な理論体系を形成する。ギ



ベトナム戦争 激戦地の 戦跡探訪

資料収集と現地視察

第2回：中部編

文と写真／三野正洋

戦跡探訪の旅、
前号(第1回)の南部編：ホーチミン
(旧サイゴン)に続く第2回は、
フエを中心とするベトナム中部編。
ダナン、クアンチ省、フエ各地の戦跡である。

当時の南北ベトナムは北緯17度線を境に、それぞれが非武装地帯DMZを設け、ここを国境としていた。

今回、中部としているのは国境から南側の地帯で、南側から見れば北部、北側からは南部で、全体からは中部となる。

2：1 ダナン周辺

太平洋に面するダナンは、この国最大の港湾都市となっていた。アメリカはかつての寒村を巨大な港、飛行場、補給基地に造りなおしていた。大型船が3隻同時に着岸できる岸壁、2本の2500m級滑走路を持つ飛行場、1万名の兵士が生活できる宿舎、多数の倉庫などである。

最盛期にはベトナム全土のアメリカ軍への補給量の7割を、ダナンが受け持っていた。このため解放戦線軍NLFとしては、とうてい無視することは出来ず、何回となく攻撃を仕

掛けている。まずB10ロケット砲、各種迫撃砲などで砲撃した後、歩兵部隊が強引に基地への侵入を図った。

しかし重火器、および航空機の支援が皆無だったこともあり、毎回少ない損害を出し退却を余儀なくされている。

ダナンが北軍の手に落ちたのは1975年3月で、アメリカ軍はすでにこの地から撤退していた。そこでNLFと北軍は膨大な物資を手に入れたのである。

その跡地には軍用機、戦闘車両、重火器が無数に放置され、とくにA-37軽攻撃機、UH-1ヘリコプターなど

見開き写真は、クアンチ省の村の中に置かれたM41戦車。ごくまれにM48も見られる。下写真左は、ダナン近くのV-100装甲輸送車。同中は、同じ場所のM113。同右は、ホーチミンルートへ続く7号線の交差点に捨てられている中国製のトラック。



上写真は、村の広場に集められた不発弾の山。このような場所は実に300カ所を超える。右写真は、北ベトナム軍を称えるポスターの前で無邪気に遊ぶ子供たち。



右写真は、ブレーク近郊の道路側に集められた砲弾と小火器。多すぎて回収が間に合わないとのこと。



右写真は、ブレーク近くで撃破された南ベトナム政府軍のM41戦車。ほかにM24戦車も見られた。右下写真は、道路わきに造られた南ベトナム軍のトーチカ。両側に多数が残されていた。下写真は、国道1号線の道路側に放置されたアメリカ軍のM88戦闘工作車。NLFの攻撃により大きく損傷していた。

下写真は、道端に無造作に転がっている無反動砲。右写真は、激戦地であったクアンチ省の民家。今は子供たちの遊び場である。



BATES 2022 最新モデル！ RALLYFORCE ZIP, RALLY FORCE LOW, RUSH MID & MANUEBER SIDE ZIP

ベイツ社の2022年最新タクティカルブーツがフルラインナップ！
革新のソール性能と仕様の違いを見きわめ、自分に合った“ハイスpek”を手に入れよう！

Photo&Text by Tomo Hasegawa
商品問い合わせ先: 中田商店 03-3839-6866 <https://www.nakatashoten.com>



過酷な状況下から登山やキャンプなどのアウトドアまで、ハイスpekな快適性能がジャンルを超越する。カバートM65ジャケット 価格19,800円、グレイマンタクティカルジーンズ 価格5,800円。ともにヘリコンテックス製。

シューズ選びのポイント “ソール” パフォーマンス

シューズ選びの決め手は何だろう？
ブランドやルックス、アウターの素材やカラーなどファクターは色々ある。しかし、重要なエレメントは“ソール”性能だ。

ましてタクティカルブーツなら、ソール性能の肝要さは一気に高まる。アスファルトやコンクリート、砂地や砂利、泥に岩場といった地形条件でも、滑らずにグリップし快適に行動できること。ソール性能は履き心地を決定する最重要スペック。さらに擦り減り難いなど耐久性も含め、質の良いものを選びたい。

ベイツ社の最新3モデルはどれも高性能ソールを搭載。それぞれ異なるアプローチながら、最先端の機能性で製品化している。同じソールであっても防水性能の有無や通気性を重視した仕様であったり、ハイカットやロウカットなどの形状違いやカラー違いなど、バリエーションが豊富。自分にあった“高性能”が見つけれられる！

ソール&アウター 最新ハイスpek “RALLYFORCE”

起動性に特化した高性能で魅了する「ラリーフォース」。陸上競技用シューズのようなルックス、なにより



アッパーは耐久性に優れた“TecTuff”素材。柔軟だが型崩れしにくく、摩擦や磨耗にも強い特性を発揮。

その軽さに驚かされる。全体的にとってもソフトな感触なのに、履いてシューレースをしめると独特のホールド感に包まれる。圧迫感はなく、まるで吸い込まれるように包み込まれるのだ。従来のブーツはその“硬さ”や“強さ”が所有感を満足させてくれるという一面もあったが、ラリーフォースで“快適さ”と“高機能”の新次元へ突入したとわかっていいだ

ろ。とくに秀逸なのが足首周り。硬さを感じさせず柔軟なのにしっかりホールドしてくれる。それでいて、軽く、苦しさはまったくない。さらにつま先が軽くて柔かい。シューズ内で指先が自由に動かしてこれがまた快適な動きに導いてくれる。そう、足裏が強化され、素足そのままの感覚で強く歩けるのだ！

ハイパフォーマンスな ソール構造

「ラリーフォース」は動き出しが素早くなる。グリップ感覚が鋭敏で、より素早く動けるのだ。素足のような履き心地、それでいてしっかりソールに保護されている。この素晴らしいグリップ力は、今回新採用の“ミシュラン”アウトソール。粘り強さ

BATES RALLYFORCE TALL ZIP

柔軟かつ安心感たっぷり包み込まれる。履いた瞬間から足に馴染むインスタントフィットがさらに進化。“慣れ”要らずの快適装着感と高性能ソールが素晴らしい。写真のグレーのほかにコヨーテブラウンあり。予価21,000円

優れたフィット感が自慢。サイドジッパーで着脱が楽♪

アキレス腱部分にプルタブが設けられ、履きやすさが向上。

サイドジッパー上部が後方にオフセットされ、タブが邪魔にならず装着感が飛躍的に向上！



2022 世界最大の銃器見本市 Shot Show

2年ぶりの開催となった世界最大の銃器見本市ショットショー。しかしながらオミクロン株の大流行の最中とあって出展ブースは少なく、さみしい印象は拭えないものとなってしまった……。

Report by Muneki Samejima

新型コロナウイルスによって世界は、想像もつかない形で大きく変わってしまった。僕はこのウィルスが中国の武漢で広まった初期の頃からニュースをチェックしており、2020年1月に開催されたショットショーで、友人たちに中国からの来場者に注意した方が良い旨を伝えていたことを覚えている。それが最後のショットショーとなってから瞬間に2年が過ぎた。2021年のショットショーはパンデミックの影響で中止。2022年のショットショーも年末年始にかけて世界中で変異株の「オミク

ロン」が大流行し、開催が危ぶまれる中、ショットショーで1、2を争う規模でブースを出展する大手メーカーのSIGがショーへの不参加を早々とアナウンス。それに続いて、ベレッタ、スプリングフィールド、コルト、CZ-USA等、相当数の大手メーカーが相次いで不参加を表明する事態となった。この話を聞いたのは、ショーの3週間程前で、正直、僕は今年もショットショーは中止になると思っていた。

しかし、NSSF (National Shooting Sports Foundation) は、ショット

ショーの開催に踏み切った。出展メーカー、来場者の大幅なキャンセルが予想され、例年なら4日間すべて参加する僕も今年は初日をスキップし、3日間みの取材を行なった。

不安を感じながら会場に到着すると、例年の最終日並みには人がおり、正直「むしろこれぐらいの人混みなら取材がやりやすいな」と感じた。しかし、メインフロアに足を踏み入れると空っぽのエリアが目立つ。想像以上にショーへの出展を取り止めたメーカーが多く、予想よりも来場者数は多かったというのが僕の印象だ。

例年通り、多くの仲間、友人たちにも久しぶりに会うことが出来たので、個人的には出展メーカーの数は少なかったとはいえショットショーはショットショーだったと感じている。参加していたメーカー、とくに規模の小さい会社は逆に来場者からの注目を例年よりも集める形になったのではないと思う。僕も取材のスケジュールの関係もあり、普段は余り訪れる機会のないメインフロア以外にも足を運んだ。今月はそんな例年とは違う2022年のショーの様子をご紹介します。

LET US BRING YOU
CUSTOMERS



SV INFINITY TACTICAL 5.4

SVインフィニティ タクティカル5.4
 ●全長:約230mm ●銃身長:約114mm
 ●重量:約1,113g ●装弾数:33+1発
 ●税込価格:4万7,300円 ●絶賛発売中!!

しばらくはレース・シューティングの世界で実績を積むことになった。

レース・ガンとして実績を積み、STI、SVIなどが、実戦用セミオートとして操作性と精度を向上させたハイキャパシティ.45は、2000年代に入るとその信頼性を着々と浸透させ、一般市場でも人気を獲

メタル・シャーシ型体のアクセサリー・レールは汎用性の高い20mmサイズで5ポジション・ロック。軽量化のためのフルート加工も施されている。

得するに至った。1997年にパラオーディナンスのP14が、FBIのHRTに採用されたことも、ハイキャパシティ.45の存在感をアピールする大きな出来事だったと言えるだろう。

米軍がM92 FSを採用して以来、

都市部を中心とした実用カートリッジとして定着した9mm口径を見据えて、伝統的な.45口径モデルを中心に、高精度ハイキャパシティ・モデルを製作するSTI、SVIも9mmモデルのバリエーションを充実させていった。現在では、ロサンゼルス市警メトロ・ディビジョンなど、全米280におよぶ法

執行機関がこれらを採用しているという。

そんな、9mm口径のハイキャパシティ・カスタム“インフィニティ・タクティカル.45”を、今月ウエスタン アームズ (以下:WA) が再生産する。このモデルは昨年9月末に発売されて早期完売したセンセーショナルなマグナ・モデル。

数量限定での生産・販売だったこともあって、手に入れ損なったファンは少なくないだろう。今回は、そんなファンの熱い要望に応じて、短期間で再生産が決定された。

日本のガンフリークが9mm口径のM1911系ハイキャパシティに注目したのは、キアヌ・リーブスが主演したアクション・ムービー『ジョン・

スライド・トップには、反射を防止するセラーションとフレンチ・ボーダー・カット。どちらも精度の高い機械加工を駆使して再現されている。メタル・チャンバカバの刻印は、いうまでもなく9mmタイプだ。



.45サイズのヘビー・バレルに9mm口径のマズル。パワフルでスピード感のあるフロント・フェイスにも、次世代ハイキャパシティのムードが漂う。

タクティカル5.4の大きなポイントになっているのが、スライド両サイドに加工されたクーリング・ホール。ダストカバーから突き出したスライドのレリーフ・カットは、タラン・バトラーが好むといわれる通称「バトラー・カット」デザインを採用している。



フロント・サイトはターゲットを素早くとらえるファイバー・オプティック・タイプ。スライド後部のボマー・サイトとのコンビネーションで、レース、コンバットに幅広く対応する。

トリガーはトラベルアジャスターを備えた樹脂製のライトウエイト・タイプ。マガジン・リリースボタンは、確実な操作を可能にするセミ・ロング&ワイド・ヘッド・タイプを組み合わせている。

ウィック・パラベラム』のスクリーンだったと思う。ファイアー・アームズ・アドバイザーを務め、戦闘テクニクと登場する銃器を総合的に監督したカリスマ・インストラクター、タラン・バトラーが、自らのTTI (タラン・タクティカル・イノベーションズ) で製作したカ

スタム・ガンを数多くこの映画に投入。その1挺が9mm口径のM1911ハイキャップ、「TTIコンバット・マスター」だった。視覚効果抜群のデザインと、スタンダード・サイズよりやや延長された5.4インチ・スライドがファンの目を釘付けにした。WAの“インフィニティ・タクティカル5.4”は、このTTIコンバット・マス

スコット・タイプのナロー・グリップは、強いグリップングにもたわむことのない強化樹脂製。素早いマガジン・チェンジを可能にする大型マガジン・ウェルは、強制的にマガジンを引き出すことのできるカット・アウトが追加されている。



丈夫なメタル・シャーシに、リアルなハンマー・アクションのトランスファー・システムを内蔵。

COLT COMMANDER GARCIA GUN BLACK Ver

鬼才サム・ペキンパーの
アクションムービー
『ガルシアの首』を
イメージした
M1911A1コマンダー



- 全長:約198mm ●銃身長:約95mm
- 重量:約834g ●装弾数:21+1発
- 価格:3万8,500円 ●絶賛発売中!!

土埃を含んだメキシコの熱く乾いた風、スローモーションでスクリーンに映し出されるトンプソンの連射シーンなどが印象に残る、サム・ペキンパー監督の傑作アクション『ガルシアの首』(1974年製作)。場末のバーでピアノを弾き、日銭を稼ぐG.I.崩れのミュージシャンが新しい人生を切り開くために、ガルシアの首にかけられた100万ドルの賞金を追う、アクション・ロード・ムービーだ。主演はハリウッド・ウエスタン全盛の頃から、バイプレイヤーとして活躍していたウォーレン・オーツ。チャールトン・ヘストン主演の『ダンディー少佐』(1965年)、傑作ウエスタンの続編として制作された

『続・荒野の七人』(1966年)、シドニー・ポワチエが主演した有色人種への偏見と差別が残る街を舞台にしたアクション『夜の犬走査線』(1967年)、時代の流れに取り残されたアウトローの美学を描いたサム・ペキンパーの『ワイルド・バンチ』(1969年)、アメリカの伝説的アウトローを描いた『デリンジャー』(1973年)、日本でも大ヒットを記録したロイ・シャイダー主演のポリス・アクション『ブルー・サンダー』(1983年)など、数々の傑作アクション・ムービーに出演し、個性的な演技で観客を魅了した。『ガルシアの首』は、職人的アクターともいえるウォーレン・オーツが、唯一主演を務めたアクション・ムービー。ツキに見放された中年男が、あえぎながら破滅の道を進む姿を、哀愁たっぷりに演じたウォーレン・オーツ

の名作でもある。原題は“アルフレッド・ガルシアの首を持ってこい!!”というような意味で、邦題同様殺伐としたイメージがわき上がる。ガルシアの首を手に入れるために墓を暴いたり、賞金をごまかそうとするグループがいたり、小悪党的な登場人物がばかりで決してスマートでもカッコ良くもない。しかし、そのあたりがかえって現実

ノスタルジックなムードを醸し出すグリップ・パネル。ショート・スパーのグリップ・セフティ、軽量化されたリング・ハンマーなど、コマンダーの特徴が忠実にモデルアップされている。



メタル・チャンバーカバーの刻印は、あえて.45オートを採用。M1911ファミリーのイメージが引き継がれている。

的で引き込まれてしまう。ペキンパーが、最後まで編集権を行使できた数少ない作品でもあるということで、独特のバイオレンス・シーンは迫力そのもの。ウォーレン・ビーティとフェイ・ダナウェイが、実在のギャング、ボニーとクライドを演じた『俺



スライドを短縮化したことで、より太くなくなったように見えるスライド。小型化しても変わることはないガバメントの力強さが伝わってくる。

たちに明日はない』を彷彿とさせるラスト・シーンが印象的だ。今月WAが再生産する“コルト・コマンダー/ガルシア・ガンブラック・バージョン”は、ウォーレン・オーツとサム・ペキンパーが描いた人生のリアリズムをイメージしたムービー・ガン。CBHWと巧みなウエザリングで、ベニー愛用のコマンダーを再現した「ビンテージ・エディション」の新品版だ。コマンダーはM1911A1の小型軽量版として開発され、アルミ・フレ



ノスタルジックなムードを醸し出すスライド両サイドの刻印を深くシャープに再現。



リコイル・システムはスタンダードなガバメント・スタイル。衝撃を吸収しつつ、スライド蹴り返すハイスピード・バッファも採用されている。スライドストップ・ノッチは、変形防止用のスチール・パーツを埋め込んだバージョン3仕様だ。

ーム、9mm口径で完成された。スクリーンに映し出されたマズル・サイズから『ガルシアの首』では、.45口径のコマンダーに9mmキットを組み込んだブランク・ガンが製作され、ブ

ロップとして使用されたといわれている。コマンダーのベースはいうまでもなくM1911だが、レリーフカットの位置、スライドストップ・ノッチとフィールド・ストリッピン

ーをリアルにモデルアップした。素材は、ビンテージ・エディション同様、硬質感と重量に定評のあるCBHW。入念なポリッ

シュを施した後、丁寧にブルーイングしてフィニッシュされたややマット感のある新品ブラック仕様。外装の金属パーツ類も同様に手を掛けたブルー・フィニッシュ。全身から、オール金属製セミオートの重厚なムードが伝わってくる。サム・ペキンパーとウォーレン・オーツのアクションをイメージする小道具として、M1911を小型軽量化したキャリア・ガンのコルト・コマンダーを是非手にして欲しい。



1949年に、M1911A1の小型軽量モデルを目指してデザインされたコマンダー。このサイズ・バランスが、後に開発されるキャリア・オートの基準になった。

グ用のノッチの位置などが、フルサイズ(5インチ・モデル)のM1911とは異なる。WAではコマンダー専用の金型を製作して、その辺りも正確に再現。ノスタルジック・デザインのグリップ・パネル、彫刻機で再現したシリーズ'70以前の刻印などで、初期型コマ

1950年代からコマースャル・タイプに採用されていたセミ・ワイドスパーのサム・セフティ、リング・ハンマーとそれに対応したショート・スパーのグリップ・セフティなど、ライト・カスタムを思わせる外装パーツの組み合わせも、コマンダーの大きな魅力だ。



オツダ
 OAKLEY HALF JACKET 1.0
 OEF-CP BDU Jacket
 CREY G3 Combat Pants
 HWI ARMY Combat Glove
 EAGLE MBAV
 ATS Combat leader admin
 TAC-T RADIO Pouch+PRC148+THALES Handmic
 GARMIN Forêtrex 101
 EAGLE YOTE
 MERRELL MOAB MID
 M4A1 SOPMOD
 BLUE FORCE GEAR Vickers Sling

2011~12年頃のアフガンでANPを訓練していたGB隊員がコンセプト。夫婦でGBとCSTの装備合わせで素敵でした。

ますたま

OPSCORE MARITIME+AMP+invisio V60
 TNVC MOHAWK MK3
 OAKLEY M-Flame Alpha
 PATAGONIA L9 Shirts
 CREY Combat Pants G3
 ATG MaxiFlex Ultimate Glove
 CREY JPC2.0
 KÄGWERKS S9 kit
 SPIRITUS SYSTEMS Fanny Sack Mk3
 BLUE FORCE GEAR CHLK Belt
 SAFARILAND 6354D0 Holster+TRUENORTH CONCEPTS Holster Adapter
 PETZL HELO Adjust Helicopter Lanyard with Eashook Connector
 SPIRITUS SYSTEMS JSTA Pouch
 M4 URG-I 11.5inch
 FRANKPROCTOR SHOOTING Proctor Sling



k-to

OAKLEY M FLAME 2.0
 CREY AC Combat Shirts&Pants
 EAGLE MBAV
 SFLCS Kit Item
 M4A1 SOPMOD
 VTAC SLING

MIA

OPSCORE FAST SF+COMTAC 3+AXL LINK kit
 OAKLEY M-Flame Alpha
 PATRAGONIA L9 Shirts
 CREY Combat Pants G3
 CREY AVS MBAV
 KÄGWERKS S5 Kit
 COYOTE TACTICAL SOLUTIONS Quick Detach Cumberbunds
 RAPTOR Dump Pouch with ChemLight holder
 SAFARILAND 7384 Holster+TRUENORTH CONCEPTS Holster Adapter
 TYR ASP (ビーバーテイルバージュ)
 M4 URG-I 14.5inch
 VTAC PADDED SLING
 HK M320



だらだら

OPSCORE FTHS+AMP+V60
 OAKLEY M-Flame Alpha
 PATAGONIA L9 Shirts&Pants
 CREY AVS MBAV
 SOFLCS TYR HAPPY Rifle Mag
 ATS AEGIS Kangaroo Waist Pouch
 RONIN SENSHI Belt
 SALOMON FORCES XA FORCES MID
 M4 URG-I 14.5inch
 FERRO Concepts The Slingster



ユーサン

OPSCORE MARITIME+COMTAC3
 GATORZ Magnum
 CREY Combat Shirts AC
 CREY Combat Pants G4
 Mechanix Original Gloves
 CREY AVS MBAV
 CREY pack Zip-on Panel 2.0
 SOFLCS FIRSTSPEAR Ranger Shingle 5.56
 TYR Nett Warrior 152 Non-Tilt Radio Pouch
 RONIN Senshi Belt
 SOFLCS TYR Happy Rifle&Pistol Pouch
 M4 URG-I 14.5inch
 VTAC Padded Sling



あおいの

OPSCORE MARITIME+COMTAC3+ARC
 OAKLEY M-Flame Alpha
 PATAGONIA L9 Shirts&Pants
 RONIN SENSHI Belt
 CREY AVS MBAV
 KÄGWERKS S5 Kit
 SOFLCS TAC-T Double Mag Pouch
 TYR ASP
 LOWA Zephyr GTX
 M4 URG-I 14.5inch
 FERRO Concepts The Slingster



キャメル

OPSCORE MARITIME+FIRST SPEAR Helmet Cover
 OAKLEY M-Flame2.0
 PATAGONIA L9 Shirts&Pants
 BLACK DIAMOND Crag Gloves
 OPSCORE MARITIME Helmet
 CREY JPC2.0
 KÄGWERKS S5 Kit
 MYSTERYRANCH 152 RADIO Pouch
 PRC152A+HARRIS Handmic
 CREY AVS Low Profile Belt
 MYSTERY RANCH Daypack Lid
 M4 URG-I 14.5inch

linda

OPSCORE MARITIME+COMTAC 3+AXL LINK kit
 OAKLEY M-Flame 2.0
 PATAGONIA L9 Shirts+Pants
 CREY AVS MBAV+AXL Micro Harness+AXL Tubes Buckle Shoulder Adapter
 KÄGWERKS S9 Kit
 SOFLCS FIRSTSPEAR Ranger Shingle 5.56
 BLUE FORCE GEAR CHLK Belt
 SAFARILAND 6354D0 Holster
 PIG FDT ALPHA Gloves
 PETZL Cordex Lightweight Belay Gloves
 M4 URG-I 14.5inch
 S.O TECH Cheetah 2 Point Quick Adjust Sling



BOLT ACTION AIR RIFLE VSR-ONE

Photo & Text by Takeo Ishii 株式会社 東京マルイ ☎03-3605-1113 www.tokyo-marui.co.jp 撮影協力/BATON Range https://www.batonrange.com

タクティカル要素テンコ盛りのコンパクト版 フォールディング狙撃銃、爆誕!

エアソフトとしての性能に振り切った設計でユーザーからの絶大な人気を誇る
ベストセラー・ボルトアクション「VSR-10」が、最新形状フォールディング・ストックでアップデート!

フィールドを引き締める 孤高の存在=ボルトアクション・スナイパー

日本のエアソフトガンはどんな銃であってもパワー上限は「0.989J以下」でなければならない。そんなイコール・コンディションで行なわれる戦い=サバイバルゲームに於いてはもちろん電動フルオート、それも多弾数を撃てる銃が圧倒的に有利だ。しかしそんな中、敢えてボルトアクション・ライフルを手にフィールド入りする勇者がどんなゲームにも少なからず存在する事実は注目に値する。

射撃の正確さはもとより、相手に発見されず標的に接近し自らの位置

取りを行なうテクニック。BB弾の飛行進路に障害物がないかの確認や相手の進路予測に必要な判断力。まさにサバイバルゲームをきわめた者にしか味わえぬ孤高の世界を彼らは生きている。

「凄腕のスナイパー」と目されているプレイヤーが一人でも参加していたらフィールドの空気はピリッと引き締まる。もし数名なら超辛口の緊張感MAX!

そんな経験があるCOMBAT読者諸兄、意外に大勢いらっしゃるのではないだろうか?

アウターバレル先端のマズルキャップを外すと14mm逆ネジでさまざまなアクセサリーに対応。従来のVSRシリーズと同じ位置にスライド式HOP調整レバーが見えるがパーツ形状や内部機構は刷新されている。

レシーバー上部のピカティニー規格マウントレールは搭載可能なスコープの選択肢も広い新規設計のロング。簡易フロント&リアサイトも付いている。

最初のVSR-10では「430mm」だったインナーバレル長がG-SPECでは「303mm」、M40A5では「280mm」となり、VSR-ONEでは遂に「200mm」まで短縮!

BOLT ACTION AIR RIFLE VSR-ONE

- 全長: 伸展時800mm/折畳み時615mm
- 重量: 約2,130g(※実測値)
- インナーバレル長: 200mm
- 発射方式: スプリング式エア、可変HOP-UP搭載
- 装弾数: 30発
- パワー: 0.621ジュール(※実測値=室温20度、湿度28%、0.2gBB弾による10発の平均弾速「7.8.82m/s」より算出)
- 価格: 32,780円



Militaria Roundup!

アメリカ陸軍の徽章 バッジ Part 1

兵士の戦功や功績に対し与えられる勲章。またこれとは別に兵士の技能や資格を示すものに“バッジ”と呼ばれる徽章が存在する。徽章は国によってさまざまな種類が存在するが、今回はアメリカ陸軍の徽章に焦点を当てて紹介していこう。

解説/菊月俊之 写真/青木健格 撮影協力/サムズミリタリ屋 <https://www.sams-militariya.com>、PKミリタリア <https://margarate.militaryblog.jp>

記事と徽章

以前の特集で触れたように、勲章は英語で“デコレーション(または“オーダー”)”と“メダル”の別が存在する。そしてそれら勲章とは別に存在するのが“バッジ(Badges)”だ。バッジは一般的に「記章」と書かれるが、本来ならば「徽章」が正しい。「記」と書かれるのは「徽」が常用漢字に入っていないのが理由だが、「記章」と「徽章」では意味が異なる。前者は英語では“メダル”と呼び、先月号と2021年12月号で紹介した従軍章(従軍記章)がこれに相当。これに対し後者は個人の職務や技能、資格等を示すものとして着用。徽章には着用者の意識を高め、行為や行動を律する役割もあり、同時に勲章や記章には縁遠い下級兵士の士気を高める目的も持っている。

アメリカ陸軍の各種徽章

“バッジ”と呼ばれるアメリカ軍の徽章は基本的に資格章で、最初は銃器および武器の操作に習熟したことを示すもので、その後の軍の近代化による多様化に対応して数が増えていく。1926年12月31日版の陸軍規定600-35に記載された資格章は①航空徽章(Aviation Badge)、②射撃、砲、剣術資格章(Marksmanship, Gunnery, Swordmanship Quarification Badge)の2つに区分され、前者が4種、後者が3種だったが、第2次大戦では大幅に増加しており、45年時点での内訳では8つに区分されている(内訳は別表を参照)。

2021年版陸軍規定670-1では資格章を①射撃術徽章(Marksmanship Badge)と②戦闘&特殊技能章(Combat & Special Skill Badge)の2項目に分けて解説。②の資格章はさらに6つのグループに分類されており、その中のグループ5には①の射撃術徽章が含まれると記述されている。現在これらの資格章をミリタリーショップで見かけることは少ないが、今回の特集では現在入手可能なものを中心に代表的な徽章を紹介させていただいた。

陸軍資格章内訳(2021年)	
射撃術徽章(Marksmanship Badge)	
合衆国国際優秀射手章(U.S. Distinguished International Shooter Badge)	
優秀ライフル射手章(Distinguished Rifleman Badge)	
優秀ピストル射手章(Distinguished Pistol Shot Badge)	
陸軍優秀競技ライフル射手章(U.S. Army Excellence in Competition Rifleman Badge)	
陸軍優秀競技ピストル射手章(U.S. Army Excellence in Competition Pistol Shot Badge)	
射撃資格章(Marksmanship Qualification Badges/3種類)	
戦闘&特殊技能章(Combat & Special Skill Badge)	
グループ1	
戦闘歩兵章(Combat Infantryman Badge/3種類)	
戦闘衛生章(Combat Medical Badge/3種類)	
戦闘行動章(Combat Action Badge)	
グループ2	
熟練歩兵章(Expert Infantryman Badge)	
熟練野戦衛生章(Expert Field Medical Badge)	
熟練兵士章(Expert Soldier Badge)	
グループ3	
陸軍飛行士章(Army Aviator Badges/3種類)	
航空外科医章(Flight Surgeon Badges/3種類)	
陸軍航空章(Army Aviation Badges/3種類)	
爆発物処理章(Explosive Disposal Badges/3種類)	
パラシュート装置員章(Parachute Rigger Badge)	
グループ4	
グライダー章(Glider Badge)	
パラシュート章(Parachutist's Badge/3種類)	
パスファインダー章(Pathfinder Badge)	
陸軍自由落下パラシュート兵章(Army Freefall Parachuteist's Badge)	
航空突撃章(Air Assault Badge)	
潜水夫章(Diver Badges/5種類)	
宇宙徽章(Space Badge/3種類)	
レンジャー、特殊部隊、工兵タブ(Ranger, Special Force, Supper Tab)	
グループ5	
運転・整備章(Driver and Mechanic Badge)	
グループ6	
体力章(Physical Fitness Badge)	

陸軍最先任曹長

勲章は兵士の功績や戦役への従軍を証するものだが、それとは別に兵士の有する資格等を証するものとして徽章(バッジ)が存在する。写真はダニエルA.デイリーアメリカ陸軍最先任曹長(Daniel A. Dailey Sergeant Major of U.S. Army)。数多くの勲章に加え、左胸には歩兵戦闘徽章、レンジャー・タブ(金属製)、運転整備章、特級射手章を右胸には部隊表彰を着用している。歩兵戦闘徽章や射撃徽章などに関しては次回紹介の予定。(Photo: U.S. Army)



陸軍資格章内訳(1945年)	
航空徽章(Badges, Aviation/16種)	
パラシュート章(Badge, Parachutist)	
歩兵徽章(Badges, Infantryman/2種)	
潜水夫章(Badge, Marine Divers/4種)	
衛生兵章(Badge, Medical)	
射撃、砲、爆撃資格章(Badge for Marksmanship, Gunnery, Bombing, etc/10種類)	
航空隊技術者章(Badges, Army Air Forces Technician)	
運転・整備賞(Badges, Driver & Mechanic Award)	

安全ピン式



徽章の固定方法

アメリカ陸軍の徽章は採用以来デザインを変えず使用されているものが多く、現在は空軍の徽章となったパイロット章は実に100年も前の1921年に制定されている。ただしデザインに変化はないといってもユニフォームに着用する際の固定方法は時代で変化している。最初は安全ピン式で、第2次大戦中にはピンが外れるのを防止する回転式のロックが付けられていた。これが現在のようなピンと円形の金具を使用する“クラッチバック”式に変更されるのは1950年代からで、これは前に紹介した勲章のリボンと同じ。クラッチバックは着脱が簡単だが、しばしば金具を紛失することも…。

クラッチバック式



クラッチバック式(ユニフォーム装着状態)



部隊感状と部隊表彰 UNIT CITATION & UNIT AWEARDS

勲章は功績を立てた兵士個人に授与されるものだが、アメリカ軍ではそれ以外に部隊を対象とした「感状」と「表彰」が存在する。感状は軍事面での顕著な功績に対して授与されるもので、旧日本軍では「部隊感状」と「個人感状」の2種が存在した。アメリカ軍では現在10以上の感状と表彰が存在する(別表参照)が、そのほとんどが第2次大戦後の制定となっている。部隊感状および表彰はリボン・バー(略綬)のみで、メダルは制定されておらず、その着用位置も勲章(または略綬)とは反対側の右胸と規定されている。感状および表彰は部隊全員の協同努力によって達成された功績に対して授与されるもので、部隊の団結を高めるといった効果もある。アメリカ軍では第2次大戦中の1942年に大統領令で制定された殊勲部隊感状(57年に大統領部隊感状と改称)が最初となった。部隊感状はアメリカ軍以外でも存在しており、自国軍隊以外の部隊に対して授与されることもある。アメリカ軍では授与された外国軍隊の部隊感状の着用が認められているが(別表参照)、それらは第2次大戦からベトナム戦争当時のものが対象となっている。

殊勲部隊感状 DISTINGUISHED(PRESIDENTIAL)UNIT CITATION

1942年2月26日の大統領令(Exective Order) 9075号により制定。授章対象は陸軍および陸軍航空隊(47年に空軍に昇格)で、海軍と海兵隊は独自の徽章を着用。制定も海軍/海兵隊の方が先(42年2月6日付の大統領令9050号)となっている。ちなみに海軍/海兵隊の殊勲部隊感状はリボン・バー(配色は上から青・黄・赤)のみで、陸軍のように金色の金属製フレームは付かない。ちなみに殊勲部隊感状は57年1月10日の大統領令10694号により、「大統領部隊感状」と改称された。また同年には沿岸警備隊を対象にした大統領部隊感状も制定されている。前述したように部隊感状は他国の部隊に授与されており、朝鮮戦争(1950~53年)では国連軍として派兵した各国軍の部隊にも授与されている。



WW2タイプ 殊勲部隊感状(DUC)は青のリボン・バーを金色のフレームで囲んだもので、写真は固定方法が安全ピン式の第2次大戦タイプ。部隊感状のリボンは勲章のリボンと同じサイズで、フレームのサイズは14×35mm。



戦後~現行タイプ こちらは現行タイプの殊勲(大統領)部隊感状で、固定方法がクラッチバックに変更されているのが特徴。それ以外は第2次大戦当時のものと変わらない。フレームには月桂樹のリースがモールドされているが、これは勝利と名誉を表すもの。(撮影協力:PKミリタリア/大統領感状章 クラッチバック/価格2900円)



七宝製DUC(PUC) 七宝焼き(金属素地にガラス質の釉(うわぐすり)を乗せ、高温で焼成して彩色したもの)で製作された殊勲部隊感状。これらの徽章は筆者が40年近く前にミリタリーショップで入手したものが、詳細は不明。入手時期と採算性から模造品の可能性は低いと思われる、恐らくは日本で製作された非正規のローカルメイド品。サイズは15×35mmで、オリジナルとはほぼ同じ。徽章に付けられた柏の葉(オークリーフ・クラスタ)は複数回の授章を示すもので、5回授章の場合は色が銀になる。固定方式は第2次大戦後に一般化したクラッチバック式。

アメリカ軍部隊感状・部隊表彰

大統領部隊感状(Presidential Unit Citation)	陸軍&空軍
大統領部隊感状(Presidential Unit Citation)	海軍&海兵隊
大統領部隊感状(Presidential Unit Citation)	沿岸警備隊
勇敢部隊章(Valious Unit Award)	陸軍
海軍部隊表彰(Navy Unit Commendation)	
沿岸警備隊標章(Coast Guard Unit Commendation)	
空軍勇武部隊章(Air Force Outstanding Unit Award)	
空軍組織優秀賞(Air Force Organizational Excellence Award)	
統合賞賛部隊章(Joint Meritorious Unit Award)	
陸軍賞賛部隊表彰(Army Meritorious Unit Commendation)	
海軍賞賛部隊表彰(Navy Meritorious Unit Commendation)	
沿岸警備隊部隊表彰(Coast Guard Meritorious Unit Commendation)	
海軍E(Navy "E" Award Ribbon)	(海軍能率章略綬)
陸軍優秀部隊表彰(Army Superior Unit Commendation)	

着用が認められた外国部隊感状

①フランス部隊感状飾緒(French fourragere)
②ベルギー部隊感状飾緒(Belgian fourragere)
③オランダオレンジ飾紐(Netherlands orange lanyard)
④フィリピン共和国大統領部隊感状(The Philippine Republic Presidential Unit Citation)
⑤韓国大統領部隊感状(The Republic of Korea Presidential Unit Citation)
⑥ベトナム大統領部隊感状(The Vietnam Presidential Unit Citation)
⑦ベトナム共和国戦功十字章部隊感状(The Republic of Vietnam Gallantry Cross Unit Citation)
⑧ベトナム共和国民生部隊感状(The Republic of Vietnam Civil Actions Unit Citation)



部隊感状のストリーマー

殊勲部隊感状は部隊にとっての勲章といった意味合いがあり、その部隊旗には授章を示す“ストリーマー(Streamer/飾り)”を取り付けられる。殊勲(大統領)部隊感状のストリーマーの色はリボンと同じ青で、授章した戦脚地域が白文字で入った。写真は殊勲部隊感状のストリーマーを授与された第442連隊戦闘団L中隊の教導旗(Guidon)。(Photo: National Archives)

第442歩兵連隊戦闘団授章DUC内訳

部隊	対象期間	戦闘地域
第100大隊	1944年7月26~27日	ローマ・アルノ
F中隊(第2大隊)	1944年10月21日	ラインラント
L中隊(第3大隊)	1944年10月21日	ラインラント
第223工兵中隊	1944年11月11日	ラインラント
第100大隊	1944年10月24~30日	ラインラント
第3大隊	1944年10月24~30日	ラインラント
第442連隊	1945年4月5~14日	ポー溪谷

第442歩兵連隊戦闘団SSI

第442連隊戦闘団は第2次大戦中に日系アメリカ人で編制された部隊で、第100歩兵大隊、第442歩兵連隊、第552野砲大隊、第232工兵中隊および支援部隊で編制。ヨーロッパ戦線で戦い、アメリカ陸軍史上における最多叙勲部隊となった。部隊は計7つの殊勲部隊感状を授章している。



部隊感状/表彰 着用位置

部隊感状および表彰のリボンは制服の右胸ポケットの上に着用し、1個の場合はリボンの中心とポケットの中心を合わせ、複数の場合は3個まで並列して着用する。写真は左から①統合賞賛部隊章(Joint Meritorious Unit Award)、②陸軍賞賛部隊表彰(Army Meritorious Unit Commendation)、③陸軍優秀部隊表彰(Army Superior Unit Commendation)。





Dubai AirShow 2021

2年おきにUAEの首都ドバイ近郊にて開催される中東最大の航空軍事見本市「ドバイエアショー」。コロナの暴威が吹き荒れている2021年においても例年通り開催された。こちらになんと日本も参加しているのをご存じだろうか!? 灼熱の大地にて、売り込みをかけていたのは、航空自衛隊の新型輸送機C-2だ。その熱き商戦の行方を追った!



屋外にて展示される航空自衛隊の最新輸送機C-2。米英、そして地元UAE軍などの機体と並んでいた。注目度はそれなりにあったが、果たして販売につなげることはできるのか……。

去る2021年11月14日から18日に渡り、UAEの首都ドバイの中心部から30km程離れた場所にあるアール・マクトゥーム国際空港において、「ドバイエアショー21」が行なわれた。航空産業を中心とした見本市だが、とくに軍事産業の参加が目立ち、戦闘機などの軍用機が多数展示されるなど、軍事見本市としても知られて

いる。出展企業は1200社以上、展示される航空機は約160機と中東最大規模を誇る。世界の軍事産業各社が集まる中、日本からは防衛省並びに川崎重工業が参加した。売り込みをかけたのは、2016年から航空自衛隊での運用を開始した国産の最新輸送機C-2だ。

諸外国では、武器の売上が積極的に行なわれている。日本は、武器を開発・製造する技術がありながら、輸出を行っていない。この“行かない”根拠としているのが、1967年より掲げている「武器輸出三原則」だ。自衛隊用に開発・製造した各種装備を①共産圏、②国連決議による武器禁輸対象国、③国際紛争の当事

国またはその恐れのある国、などへ輸出しないとされている。後に、この3原則に当たらない国であれば、輸出ができる、とも読み取れるので、わざわざ“それ以外の地域への輸出も慎む”ものと書き加えられた。世界レベルの装備を開発・製造するためには世界を知るべし。そこで、国際貢献や災害派遣など平和利用で



屋内展示会場の様子。会場中央で広いスペースを使うUAEのEDGE社、見ての通り、各種ドローンがズラリと展示されていた。なお、同社に限らず、ドローンの売り込みをかける企業は多かった。



中国の高等練習機L-15。すでに中国空軍でも教練10型（JL-10）の名前で配備されている。地上展示だけでなく、カラースモークをひいた派手なデモフライトも実施。軽戦闘機としての販売にも力を入れている。